



2021-2022 年度ワイズメンズクラブ国際協会西日本区 六甲部第 2 回評議会

3 月 19 日（土）に開催されました 2021-2022 年度第 2 回評議会は、会長、主査をはじめご出席の皆様のご協力のもと無事に終えることができました。ありがとうございました。

緊急提案させていただきましたウクライナ支援、神戸 YMCA 支援にもご賛同いただき、感謝いたします。コロナ禍において活動が難しいために予算面で生まれた余剰金を今必要とされるところに有効に使わせていただくことができました。

詳しい評議会記録は、会長を通して皆様の手元に届くこととなりますので、クラブ内での共有をよろしく願いいたします。

今期も残すところ 3 ヶ月、まん延防止等重点措置が解除され、活動も少し広げられそうです。機会を見つけて、EMC に繋げていただきますようお願いいたします。



その芽は、次期にきっと花開くと信じて。

～オンラインでも繋がって～



<交流会で>

YMCA セミナー2021

コロナ禍における子どもと若者を取り巻く環境の変化

～ポストコロナを見据えて～

主催：神戸 YMCA ミッション委員会

3月5日（土）神戸 YMCA 三宮会館で、講師に上杉徹氏（神戸真生塾施設長）を招き、「コロナ禍における子どもと若者を取り巻く環境の変化」と題して講演が開催されました。その後参加者によるグループディスカッションが行われました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、子どもと若者の生活が激変している。彼らがどのような困難を抱えているか、中でも社会的養護のもとで育った若者たちはどのような課題があるのかを知った上で取り組まれている地域での支援の事例から、私たちのなすべきことを考える機会となりました。

<課題>

神戸 YMCA は、「YMCA の卓越性を活かして」「既存の活動・プログラムから」
「新たな可能性を求めて」、何をするのか？何ができるのか？

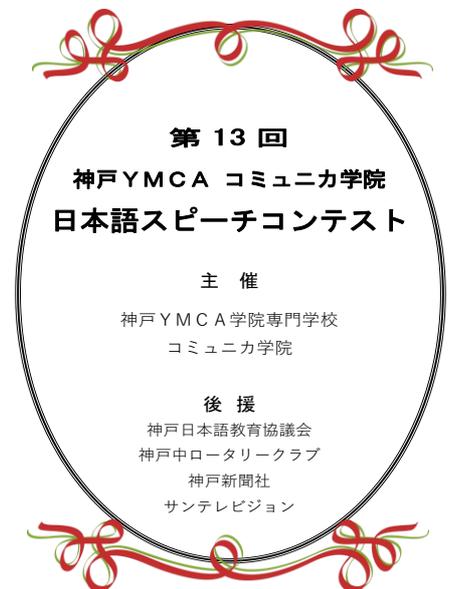
この日の参加者は、20名ほどでした。YMCA と協働して活動していくワイズメンズクラブの皆さんも、こういう機会に集って共に語り合うことも必要ではないかと感じました。

「日本語スピーチコンテスト」

神戸 YMCA 学院専門学校で学ぶ留学生の皆さんが、日本で暮らし、学んで感じたことを、それぞれの日本語の力を発揮して発表する場です。
コロナ禍であることで、会場とオンラインのハイブリッドで行われました。

共に学ぶ仲間たちの声援を受け、一生懸命にスピーチされる姿には感動すら覚えました。

自国を離れ留学してこられたこと自体が大きな挑戦です。コロナ禍で、いろいろな困難がある中で学ばれ、その学習の成果を発揮されていたことに大きな拍手を送ります。



ワイズメンズクラブでも留学生支援をいろいろな形で
行っていますが、留学生と交わることができたら、もっ
と身近に感じられて温かい繋がりのもとに支援ができる
のではないかと思います。

今回、初めてこのスピーチコンテストに参加させていただきましたが、できるならば
これからも予定に入れておきたいプログラムでした。

このような有意義な企画が続いてほしいと思います。皆様も、YMCA が行う
留学生プログラムに触れてみられたらいかがでしょう。

・・・お知らせ 及び お願い・・・

メネット事業

『ベルマークを集めて YMCA を支援しよう！』

3 月末時点におけるベルマーク集計結果 (2021 年 7 月～)

31971.8 点 (使用済みインクカートリッジ 5.155 点を含む)

「捨てればゴミ、集めれば YMCA 支援」ご協力をお願いします

デジタル小委員会・広報委員会

= 定例の委員会を 3 月 7 日 (月) に開催 =

・六甲部 HP 改善についての報告

部の行事 (11 月しあわせの村での記念植樹記録) の掲載

例会スケジュール案内の掲載

※各クラブ HP の更新努力をお願いしたい（デジタル小委員会が支援）

・確認事項

デジタル小委員会は、広報委員会とは別の組織とし、広報事業をはじめ六甲部各事業委員会や各クラブの支援を幅広く行い、六甲部のデジタル化の底上げを図るという設置当初の趣旨に沿う活動を続けていく。

デジタル小委員会は、クラブの実情に合わせて選出されたメンバー（会長、広報委員、その他）1名により構成され、必要に応じて第1月曜日に開催される。

六甲部ワイズ会長・総主事懇談会 =3月10日（木）開催=

<議事内容>

- ① 神戸 YMCA2021 年度全体報告
- ② 2022 年度支援依頼について～パートナーシップ委員会での協議を受けて～
年間行事予定と支援依頼が示された

『行事や取り組みに対して、支援、協働をお願いしたい』

- ・協働とはどういうことなのか、その意味の共通理解を図る必要がある。
- ・ワイズと YMCA との協働を進める場合、協働という本来的な意味から企画段階から共にすることが必要で、プロセスも分かち合い、一緒に働く場を作っていきたい。

・YMCA とワイズの関わり度合いは、全て同じという訳でなく、それぞれのプログラムに応じて変えてもいいのではないかと。

・絵本配布事業と「神戸青年」への寄稿の依頼・・・六甲部として検討

参考) 東日本区メネット委員会実施の絵本配布事業

『子どもたちに絵本を贈りましょう』プロジェクト

③ 各クラブ報告

その他では・・・

◎『Y's×SDGs Youth Action 2022』に応募された以下の取り組みは、残念ながら今回の審査では取り上げられませんでした。この時代においてとても大切なことですから。ワイズメンズクラブの地域奉仕・環境事業と繋がってユースの活動を支援できたらよいのではないかと思います。

企画名：気候危機を福音として

チームの名称：神戸 YMCA 気候危機チーム

チームメンバー6名（代表：阪田晃一）

◎生田川公園での記念植樹に関して、

神戸市から寄付受納書を受け取りましたので

お知らせいたします。



しあわせの村



生田川公園

2022.3.30

神建公管第 2462 号
令和 4 年 2 月 28 日

寄 付 受 納 書

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
六甲部部长 大野 智恵 様

神戸市長 久元 善 様 

令和 4 年 2 月 11 日付「寄付申出書」によるお申出につきましては、
下記のとおりありがたく受納いたしました。

記

1. 寄付物件
ソメイヨシノ 1 本

2. 受納場所
生田川公園

3. 寄付受納日
令和 4 年 2 月 23 日

担当：建設局中部建設事務所公園緑地係
(電話：078-511-0515)
建設局公園部管理課
(電話：078-595-6451)